



みどり

金杉小学校 学校だより
第7号 11月号
令和4年11月1日



〈在籍児童数〉
男子 90名
女子 92名
計 182名

学校教育目標
よく学ぶ子
なかよく助け合う子
たくましく健康な子

11月の行事予定

1	火	社会科見学5年(グリコピア・SKIPシティ)
2	水	校外学習3年(消防署) 球根植え1年
3	木	(祝)文化の日
4	金	振替休業日(かなすぎ音楽会)
5	土	
6	日	
7	月	なのはなの里交流(2・4・6年) 放課後子ども教室
8	火	箏・尺八教室(5年)
9	水	給食費集金日 松伏中3Days(~11日) みそパーティ(34年)
10	木	修学旅行6年(鎌倉・江の島方面)
11	金	修学旅行6年
12	土	
13	日	
14	月	県民の日
15	火	松二中3Days(~17日)
16	水	校内持久走大会
17	木	給食指導6年 クラブ活動 SC来校日 放課後子ども教室
18	金	持久走予備日
19	土	
20	日	
21	月	避難訓練
22	火	
23	水	(祝)勤労感謝の日
24	木	5時間授業 社会科見学4年(川越) 放課後子ども教室
25	金	研究発表会(下校145年13:20 236年 14:40)
26	土	
27	日	
28	月	放課後子ども教室
29	火	
30	水	味噌づくり(3年)



新しい命の学びから



校長 星野 健一

金杉小学校の庭には、卒業記念として卒業生が残してくれたミカンの木がありますが、その木々に色づいたミカンが数個実り、先日6年生と収穫をして二粒ずつみんなで味わっていただきました。秋の深まりも朝晩と日中の寒暖差が大きくなり、日に日に感じられるところですが、味覚や触覚など五感を活かしてみるとさらに実感されるようです。ちなみに味は、甘すっぱさが自然の味として感じられ、秋を再認識しておいしかったです。

ところで、もう一つ金杉小の話題ですが、今年の春先に金杉小の動物飼育のために子うさぎを二羽いただいてきて、一夏を越し、飼育係の児童を中心に毎日飼育を行ってきました。小学校では、命を大切に作る心や他者への思いやりを子どもたちに学ばせるために、動物を飼育したりするといった取り組みが広く行われています。金杉小学校でも飼育小屋ができてから数年、うさぎの飼育を続けていますが、様々な効果が出ていて有効だと感じます。そのような中、ある児童が「校長先生！うさぎ小屋の穴にちいさいフサフサしたのが2つ見えます！」と息を切らしながら報告してくれました。『えっ、まさか・・・』とふと頭をよぎりましたが、なんとその後確認してみると七羽のフサフサした子うさぎたちがひょこひょこ出ていたり、親の近くでみんな体をよせあっている様子などとても愛らしい姿が見られました。春先にもらってきたときに確認したところ、二羽とも雄という判断だったのですが、実は違っていたようでした。動物の判断は難しいとまた一つ勉強になりました。しかし、動物をただ単に「かわいい」という気持ちだけで飼育することはだめなので、動物への関わり方を広げる中で、動物についてしっかり学び、生命への気づき、感性、思いやり等の気持ちなどを育てながら命についての学びにつなげることをしていきたいです。そして、今後さらに大きくなりて人の命の大切さについても学んで、金杉小学校の児童たちが成長してくれることを期待します。

その後、子うさぎたちはもらい手の方々がいのおかげで適正な数になり少なくなりましたが、職員も今一度、命の大切さを学びながら児童と共に飼育活動を続けていこうと思います。

10月29日に行われた「かなすぎ音楽会」では、児童一人一人のそれぞれの力を発揮することができました。11月も様々な学校行事や生活の場があります。五感を研ぎ澄ましなが、秘められた可能性を磨きつつ、「思いやりいっぱい・体験いっぱい・歌声いっぱい」の心豊かな児童の育成を目指していきますので、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

《第1回 かなすぎ音楽会》

10月29日(土)に「かなすぎ音楽会」(旧称:歌声発表会)が盛大に開催されました。本年度は合唱だけではなく手拍子や楽器を取り入れたり、動きを入れたりするなど工夫した発表が多く素晴らしかったです。

多くの保護者に参観していただきありがとうございました。



《盛大に開催！ 金小まつり》



ステージパフォーマンス、ゲームなど、とても楽しく子どもたちの歓声が響き渡っていました。まつりクラブ、PTAのみなさまありがとうございました。

「令和4年度町内音楽会」(10/28)

5年1組・6年1組が代表で出場しました。

